

販路開拓の契機創出に向けて

7/8 市民交流センター

新規就農者など、経験の浅い生産者たちの経営安定を図ることを目的に、みとよ農水産物商談会が開催されました。個人の生産者も含め、仕入れ業者8社・農家さんなど13者が販路開拓のため、生産者自らが商談会に参加し、自社商品の魅力や特徴について説明を行いました。



▲各ブースでは、熱心なやりとりが行われました

日本一の七夕をしよう！

7/7 詫間小学校

詫間小学校児童会が企画した七夕イベント「みんなで巨大な七夕の輪飾りを作ろう」が行われました。全校児童約470人全員で協力し、長さ約250メートルの輪飾りを作成。児童会長の米田萌音さん(6年生)は「初めは不安でしたが、みんなで協力して、思っていたより大きな輪ができて嬉しいです」とイベントの成功を喜んでいました。



▲全校生徒で、完成した輪飾りを持って記念撮影

みんなで楽しく生活習慣を学ぼう！

7/12 曾保小学校

シンガーソングライターのmimikaさんが訪れ、曾保小学校の全校児童12人と一緒に、「早ね 早おき 朝ごはん」の大切さについて楽しく学びました。6年生を中心に〇×クイズや、mimikaさんのオリジナルソング「生活習慣☆リズム感♪」に合わせて楽しくダンスをしました。参加した6年生の皆さんは「ポーズが難しかったけど、友達みんなとダンスができて楽しかった。早ね早おき朝ごはんの生活リズムをしっかりと整えて元気に過ごしたい」と話してくれました。



▲みんなでポーズを揃えます



▲mimikaさんと一緒にダンス



▲キャラクターの「おはっぴー」がサプライズ登場

お年寄りの気持ちに寄り添おう

6/24 勝間小学校

勝間小学校6年生19人が福祉体験学習に参加しました。講師は市社会福祉協議会高瀬支所の皆さん。劇をして認知症について学んだり、重りやサポーターを付けて高齢者疑似体験をしたりしました。講師から「歳を取ることは素晴らしいこと。お年寄りを敬う気持ちを忘れないで」と伝えられた子どもたちは「お年寄りは苦労していることが分かった」「困っていたら声をかける」など、自分たちのできる範囲でのサポートをしたいと話してくれました。授業の最後には、キッズサポーターの称号とバッジが与えられ、嬉しそうに身に付けていました。



▲白内障の見えにくさを体験

歩くのにも一苦労

災害から身を守るために

6/17 財田町総合運動公園

市建設業協会による、急な災害に備えた安全・防災訓練が行われました。協会員150人や財田小学校の4年生23人などが参加し、大型土のうの積み立て訓練や土のう作りを実施。

防災ヘリコプターに搭乗体験をした子どもたちは「ヘリの中がこんなに広いと思わなかった。お兄ちゃんに自慢できる！」と目を輝かせていました。防災航空機の隊員からは「災害時に皆さんを助けるためのヘリです。出動することがないよう元気に安全に過ごしましょう」と呼び掛けられました。



▲大型土のうを積み立てます



▲防災航空機の隊員が、機内を案内

見たことない機械がいっぱい～！

みとよHOT
ほっとNEWS

ほっとニュースは
市ホームページでも

「誰一人置き去りにしない」学びの場へ

6/22 三豊市役所

今年度2回目となる三豊市における夜間中学協議会が開かれ、主に学齢期生徒の受け入れについての話し合いが行われました。4月に開設した三豊市立高瀬中学校夜間学級は、現在は学齢期を過ぎている学齢経過者の受け入れを行っていますが、今後は不登校特例校として学校に通えていない学齢期生徒の受け入れも予定しています。

協議会では、事務局から受け入れの進め方や流れを説明した後、入級可否の基準や在籍校の聞き取り調査について意見を交換。今後は入級の問い合わせのある学齢期生徒を対象に、体験入級などの受け入れを進めていく予定です。



この夏も安全に海水浴が楽しめるように

7/1 父母ヶ浜海水浴場

今年の夏も安全に海水浴ができることを祈願して、父母ヶ浜で海開きの神事が執り行われました。父母ヶ浜ポート事務局の田中尚吾さんは「いつも以上に暑い夏なので、熱中症に気を付けながら安全に楽しんでほしい」と話していました。お盆の時期には、縁日イベントも予定しています。



▲無事故を祈ります

誰もが安心・安全に過ごせる社会に

7/1 三豊市役所

第72回「社会を明るくする運動」強化月間のスタートとなる出発式が3年ぶりに行われ、保護司会や更生保護女性会の皆さんが参加しました。この運動では、犯罪や非行のない、安心・安全に暮らせるまちづくりのため、地域に根ざした啓発運動を行っています。



▲出発式に参加した保護司会、更生保護女性会の皆さん